【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公表番号】特表2001-500295(P2001-500295A)
【公表日】平成13年1月9日(2001.1.9)
【出願番号】特願平10-512933
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　 9/06
　Ｇ０６Ｆ　13/00
　Ｈ０４Ｌ　12/54
　Ｈ０４Ｌ　12/58
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　 9/06　　５５０Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５１Ｇ
　Ｈ０４Ｌ　11/20　　１０１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月3日(2004.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成１６年９月３日

特許庁長官 小 川 洋 殿

１．事件の表示

平成１０年特許願第５１２９３３号

２．補正をする者

名称 チェイニー ソフトウェア インターナショナル セールス
コーポレイション

３．代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目５番１号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士（７７５１）石 田 敬

４．補正対象書類名

明細書、請求の範囲

５．補正対象項目名

明細書、請求の範囲

６．補正の内容

（１）請求の範囲を別紙に記載の通りに補正する。

（２）明細書第１頁第７行目に記載の「添付物」を『添付ファイル』に補正する。

７．添付書類の目録

請求の範囲 １通

請求の範囲

１．クライアントサーバーアーキテクチャ及びメッセージシステムを有するコンピュータネットワークにおいて使用され、電子メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスを検出及び除去するサーバベースの方法であって、

走査時間周期を提供する段階と、

以前の走査時間周期内に前記メッセージシステムで受信された電子メールメッセージの添付ファイルのリストを得るために、前記サーバーにおいて前記メッセージシステムをサーチする段階と、

前記サーバーにおいて、前記添付ファイルのリスト内の各添付ファイルを、コンピュータウイルス走査のために抗ウイルス検出モジュールへ渡す段階と、

前記抗ウイルス検出モジュールにおいて、前記添付ファイルのリスト内にある各添付ファイル内のコンピュータウイルスを検出及び除去する段階と、

前記サーバーにおいて、各添付ファイルを前記電子メールメッセージに再度添付する段階と、

を有する方法。

２．各走査時間周期毎に、前記方法を反復する段階をさらに有する請求項１に記載の方法。

３．前記電子メールメッセージは、前記メッセージシステムが置かれる、あるクライアントーサーバーネットワーク上のワークステーションにおいてユーザーから受信される電子メールメッセージを含む請求項１に記載の方法。

４．前記電子メールメッセージは、外部メッセージシステムから受信される電子メールメッセージを含む請求項３に記載の方法。

５．前記電子メールメッセージは、インターネット上で受信される電子メールメッセージを含む請求項１に記載の方法。

６．メールサーバーをもつクライアントサーバーコンピュータネットワークにおいて使用され、電子メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスを検出及び除去する方法であって、

Ａ．走査時間周期をセットする段階と、

Ｂ．以前の走査時間周期内に前記メールサーバーに入力された電子メールメッセージの添付ファイルのリストを得るために、前記サーバーにおいて、前記メールサーバーをサーチする段階と、

Ｃ．前記サーバーにおいて、前記添付ファイルのリスト内にある各添付ファイル内のコンピュータウイルスを検出及び除去する段階と、

Ｄ．前記サーバーにおいて、前記メールサーバー内の前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付する段階と、

を有する方法。

７．各走査時間周期毎に前記段階ＢからＤまでを反復する段階をさらに有する、請求項６に記載の方法。

８．段階Ｃは、さらに、コンピュータウイルス走査のために、抗ウイルス検出モジュールへ前記添付ファイルのリスト内の各添付ファイルを渡す段階を有する、請求項６に記載の方法。

９．メールサーバーをもつクライアントサーバーコンピュータネットワークにおいて使用され、電子メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスを検出及び除去する方法であって、

Ａ．走査時間周期を得る段階と、

Ｂ．以前の走査時間周期内に前記メールサーバーに入力された電子メールメッセージの添付ファイルのリストを新規作成するために、前記メールサーバーをサーチする段階と、

Ｃ．コンピュータウイルスの走査及び除去のために、抗ウイルス検出モジュールに、前記添付ファイルのリスト内の各添付ファイルを渡す段階と、

Ｄ．前記抗ウイルス検出モジュールにおける既知のコンピュータウイルスの走査及び除去の後に、前記メールサーバー内の前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付する段階と、

Ｅ．各走査時間周期毎に段階ＢからＤまでを反復する段階と、

を有する方法。

１０．複数のワークステーション及びメッセージシステムを内含するサーバーをもつクライアントサーバーコンピュータネットワークにおいて使用され、電子

メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスを検出及び除去するための、サーバベースの方法であって、

前記メッセージシステムにおいて電子メールメッセージを受信する段階と、

前記電子メールメッセージを受信したとき、該電子メールメッセージが添付ファイルを内含するか否かを決定する段階と、

前記電子メールメッセージが添付ファイルを内含する場合、コンピュータウイルス走査のために、抗ウイルス検出モジュールに対し前記添付ファイルを渡す段階と、

前記抗ウイルス検出モジュールにおいて、前記添付ファイル内のコンピュータウイルスを検出及び除去する段階と、

前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付する段階と、

を有する方法。

１１．前記の電子メールメッセージを受信する段階は、外部コンピュータネットワークから電子メールメッセージを受信する段階を有する、請求項１０に記載の方法。

１２．前記の電子メールメッセージを受信する段階は、ワークステーションから電子メールメッセージを受信する段階を有する請求項１０に記載の方法。

１３．複数のノードを有し、これら複数のノード間で複数の電子メールメッセージを送受信するために電子メールシステムを作動させるように構成され、かつ、前記複数の電子メールメッセージの一部が、これに関連付けられた少なくとも１つの添付ファイルを有しているコンピュータネットワークにおいて、前記複数の電子メールメッセージの前記添付ファイルから、コンピュータウイルスを検出し除去する方法であって、

前記複数の電子メールメッセージの一部の各々から、前記少なくとも１つの添付ファイルを切離す段階と、

抗ウイルスアプリケーションに、前記少なくとも１つの添付ファイルを送る段階と、

前記抗ウイルスアプリケーションによって、前記少なくとも１つの添付ファイルを走査して少なくとも１つのコンピュータウイルスを探す段階と、

前記少なくとも１つの添付ファイルから、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスを除去する段階と、

前記複数の電子メールメッセージのうちの対応する１つの電子メールメッセージに、前記少なくとも１つの添付ファイルを再添付する段階と、

を有する方法。

１４．前記複数の電子メールメッセージのうちの少なくとも１つが、前記コンピュータネットワークとしての第１のコンピュータネットワークと通信する第２のコンピュータネットワークから発信されている、請求項１３に記載の方法。

１５．前記複数の電子メールメッセージのうちの少なくとも１つが、前記コンピュータネットワークから発信されている、請求項１３に記載の方法。

１６．前記添付ファイルは、ユーザーによって既に開かれたか又は見られたかに関わらず走査される、請求項１３に記載の方法。

１７．前記添付ファイルは、ユーザーの手を介することなく走査される、請求項１３に記載の方法。

１８．前記複数の電子メールメッセージのうちの少なくとも１つが、前記コンピュータネットワークとしての第１のコンピュータネットワークと通信する第２のコンピュータネットワークから発信される、請求項１７に記載の方法。

１９．複数のノードを有し、これら複数のノード間で複数の電子メールメッセージを送受信するために電子メールシステムを作動させるように構成され、かつ、前記複数の電子メールメッセージの一部が、これに関連付けられた少なくとも１つの添付ファイルを有しているコンピュータネットワークにおいて、前記少なくとも１つの添付ファイルから、少なくとも１つのコンピュータウイルスを検出及び除去する方法であって、

前記複数の電子メールメッセージの各々から、前記少なくとも１つの添付ファイルを切離す段階と、

前記少なくとも１つの添付ファイルが、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスに感染しているか否かを決定する段階と、

前記少なくとも１つの添付ファイルから、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスを除去する段階と、

前記複数の電子メールメッセージのうちの対応する１つの電子メールメッセージに、前記少なくとも１つの添付ファイルを再添付する段階と、

を有する方法。

２０．サーバーコンピュータと、複数のクライアントコンピュータと、電子メールメッセージの分配を制御するために該サーバーコンピュータに配置されたメッセージシステムと、含むクライアント・サーバーコンピュータネットワーク内の電子メールメッセージの添付ファイル内にある、コンピュータウイルスを検出及び除去するためのシステムであって、該システムは、

前記サーバーコンピュータに配置され、ファイルを走査してウイルスを探す抗ウイルスモジュールと、

前記サーバーコンピュータに配置され、前記抗ウイルスモジュールと前記メッセージシステムの間のインタフェースを提供するエージェントと、

を備え、

該エージェントは、

走査時間周期を受信するための手段と、

以前の走査時間周期内に前記メッセージシステムにて受信された電子メールメッセージの添付ファイルのリストを得るために、前記メッセージシステムをサーチするための手段と、

コンピュータウイルス走査のために、前記抗ウイルスモジュールに対し前記添付ファイルのリスト内の各添付ファイルを渡すための手段と、

前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付するための手段と、

を含むシステム。

２１．前記電子メールメッセージは、前記コンピュータネットワーク上でクライアントコンピュータから受信した電子メールメッセージを含む請求項２０に記載のシステム。

２２．前記メッセージシステムが外部ゲートウェイを含み、前記電子メールメッセージが外部メッセージシステムから受信した電子メールメッセージを含む、請求項２１に記載のシステム。

２３．前記電子メールメッセージは、インターネット接続の上で受信した電子

メールメッセージを含む請求項２０に記載のシステム。

２４．電子メールメッセージを有するメールサーバーを含むサーバーコンピュータと、複数のクライアントコンピュータと、を有するクライアントサーバーコンピュータネットワーク内において使用され、電子メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスの検出を補助する抗ウイルスエージェントであって、

走査時間周期をセットするための手段と、

前記サーバーコンピュータの中に配置され、以前の走査時間周期内で前記メールサーバーに入力された電子メールメッセージの添付ファイルのリストを得るため前記メールサーバーをサーチするための手段と、

コンピュータウイルスの走査及び除去のために、前記添付ファイルのリスト中の各添付ファイルを、抗ウイルス検出モジュールへ渡すための手段と、

前記サーバーコンピュータ内に配置され、前記メールサーバー内の前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付するための手段と、

を備える抗ウイルスエージェント。

２５．さらに、前記添付ファイルのリスト中の各添付ファイル内のコンピュータウイルスを検出及び除去するための手段を備える請求項２４に記載の抗ウイルスエージェント。

２６．複数のノードを有し、これら複数のノード間で複数の電子メールメッセージを送受信するために電子メールシステムを作動させるように構成され、かつ、前記複数の電子メールメッセージの一部が、これに関連付けられた少なくとも１つの添付ファイルを有しているコンピュータネットワークにおいて、前記複数の電子メールメッセージの前記添付ファイルから、コンピュータウイルスを検出及び除去するシステムであって、

前記複数の電子メールメッセージの一部の各々から前記少なくとも１つの添付ファイルを切離すための手段と、

抗ウイルスアプリケーションに前記少なくとも１つの添付ファイルを送るための手段と、

抗ウイルスアプリケーションによって、前記少なくとも１つの添付ファイルを

走査して、少なくとも１つのコンピュータウイルスを探すための手段と、

前記少なくとも１つの添付ファイルから、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスを除去するための手段と、

前記複数の電子メールメッセージのうちの対応する１つの電子メールメッセージに、前記少なくとも１つの添付ファイルを再添付するための手段と、

を備えるシステム。

２７．前記複数の電子メールメッセージのうちの少なくとも１つが、前記コンピュータネットワークとしての第１のコンピュータネットワークと通信する第２のコンピュータネットワークから発信されている、請求項２６に記載のシステム。

２８．前記複数の電子メールメッセージのうちの少なくとも１つが、前記コンピュータネットワークから発信されている、請求項２６に記載のシステム。

２９．複数のノードを有し、これら複数のノード間で複数の電子メールメッセージを送受信するために電子メールシステムを作動させるように構成され、かつ、前記複数の電子メールメッセージの一部が、これに関連付けられた少なくとも１つの添付ファイルを有しているコンピュータネットワークにおいて、前記少なくとも１つの添付ファイルから、少なくとも１つのコンピュータウイルスを検出及び除去するシステムであって、

前記複数の電子メールメッセージの各々から前記少なくとも１つの添付ファイルを切離すための手段と、

前記少なくとも１つの添付ファイルが、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスに感染しているか否かを決定するための手段と、

前記少なくとも１つの添付ファイルから、前記少なくとも１つのコンピュータウイルスを除去するための手段と、

前記複数の電子メールメッセージのうちの対応する１つの電子メールメッセージに、前記少なくとも１つの添付ファイルを再添付するための手段と、

を備えるシステム。

３０．サーバーコンピュータと、複数のクライアントコンピュータと、前記サーバーコンピュータに配置され、かつ複数のメールボックスを含み電子メールメ

ッセージの分配を制御するメッセージシステムと、含むクライアント・サーバーコンピュータネットワーク内の、電子メールメッセージの添付ファイル内にあるコンピュータウイルスを検出及び除去するためのリアルタイムシステムであって、該リアルタイムシステムは、

前記サーバーコンピュータに位置づけられ、ファイルを走査してウイルスを探すため抗ウイルスモジュールと、

前記サーバーコンピュータに位置づけられ、前記抗ウイルスモジュールと前記メッセージシステムの間のインタフェースを提供し、かつ電子メールメッセージがメールボックスに転送されるときにつねに呼び出されるエージェントと、

を備え、

該エージェントは、

電子メールメッセージが添付ファイルを内含するか否かを決定するための手段と、

前記電子メールメッセージから前記添付ファイルを切離すための手段と、

前記添付ファイルを走査してコンピュータウイルスを探すために、抗ウイルスモジュールを有効化する有効化手段と、

前記電子メールメッセージに各添付ファイルを再添付するための手段と、

を含むリアルタイムシステム。

３１．前記の切離すための手段には、さらに、前記添付ファイルをファイル内に記憶するための手段も含まれている、請求項３０に記載のリアルタイムシステム。

３２．前記の有効化手段には、さらに、前記抗ウイルスモジュールに、前記添付ファイルが記憶されるファイルのアドレスを通知するための手段が含まれている、請求項３１に記載のリアルタイムシステム。

３３．前記の有効化手段には、さらにコールバック機能が含まれている、請求項３０に記載のリアルタイムシステム。

３４．前記電子メールメッセージには、前記コンピュータネットワーク上のクライアントコンピュータから受信した電子メールメッセージが含まれる、請求項３０に記載のリアルタイムシステム。

３５．前記エージェントが、前記メッセージシステムと、複数の異なる抗ウイルスモジュールと、の間のインタフェースを提供する、請求項３０に記載のリアルタイムシステム。

３６．前記エージェントが、前記抗ウイルスモジュールと、複数の異なるメッセージシステムと、の間のインタフェースを提供する、請求項３０に記載のリアルタイムシステム。